

NACSIS-CAT/ILL

ニュースレター

Contents

- | | |
|---|----|
| 1. 大学図書館等関連事業説明会 (NII Library Week 2004) 開催報告
(NACSIS-CAT) | 2 |
| 2. NACSIS-CAT 参照ファイルに OCLC を導入 | 3 |
| 3. 平成 17 年度遡及入力事業について | 4 |
| 4. 総合目録個別版データの提供方法変更について | 6 |
| 5. 雑誌「変遷注記用データシート」の改訂について | 7 |
| 6. 「教科書に関する取扱い及び解説」,
「コーディングマニュアル (教科書に関する抜粋集)」の公開 | 7 |
| 7. 半自動モードを用いた自動登録システム実証実験プロジェクト報告書について | 8 |
| 8. ISBN13 桁化への NACSIS-CAT の対応 | 9 |
| 9. NACSIS-CAT/ILL システムの移行について | 10 |
| 10. 平成 15 年度 NACSIS-CAT/ILL 業務分析表の送付について | 10 |
| 11. 平成 16 年度第 3 回レコード調整の発送 | 11 |
| 12. 平成 16 年度第 1 回継続資料の取扱いに関する小委員会開催報告 | 11 |
| 13. 書誌ユーティリティ課題検討プロジェクトの検討状況について | 12 |
| 14. 平成 16 年度総合目録データベース実務研修実施報告 | 13 |
| (NACSIS-ILL) | |
| 15. 日韓 ILL/DD 暫定サービス利用状況 | 14 |
| 16. ILL 文献複写等料金相殺サービス処理報告 (平成 16 年度第 3 四半期) | 15 |
| 17. ILL 文献複写等料金相殺サービスの運用について | 16 |
| (その他) | |
| 18. 学術機関リポジトリ構築ソフトウェア実装実験プロジェクトの終了 | 17 |
| 19. 会議開催報告 (平成 16 年 12 月～平成 17 年 3 月) | 18 |
| (付録) | |
| ・ 総合目録個別版提供申請書 | |
| ・ 変遷注記用データシート | |
| ・ 「教科書に関する取扱い及び解説」 | |
| ・ 「コーディングマニュアル (教科書に関する抜粋集)」 | |



大学共同利用機関法人 情報・システム研究機構

国立情報学研究所

〒101-8430 東京都千代田区一ツ橋 2 丁目 1 番 2 号

コンテンツ課

目録情報管理係 …… Tel:03-4212-2310 Fax:03-4212-2375

学術情報サービス係 … Tel:03-4212-2320 Fax: 同上

学術情報形成第二係 … Tel:03-4212-2350 Fax:03-4212-2370

企画調整課

基盤整備係 …… Tel:03-4212-2220 Fax:03-4212-2230

研修係 …… Tel:03-4212-2175 Fax: 同上

URL:<http://www.nii.ac.jp/CAT-ILL/>

大学図書館等関連事業説明会 (NII Library Week 2004) 開催報告

平成 16 年 12 月に、大学図書館等関連事業説明会 2004 を全国 5 か所の会場で開催し、全体で約 1,000 名の方々に御参加いただきました。御協力・御参加いただいた方々には、この場を借りて御礼申し上げます。

本説明会では、目録所在情報サービス (NACSIS-CAT/ILL) の現状と課題、学術機関リポジトリ、そして平成 17 年 4 月からの新しい GeNii (NII 学術コンテンツ・ポータル) のサービスについて説明いたしました。

当日の配布資料やいただきました御質問への回答は、以下の URL で公開していますので、御参照ください。

URL : http://www.nii.ac.jp/CAT-ILL/contents/nlw_2004_QA.html

地区・会場	日時	参加人数 (計 1,004 名)
北海道地区 (北海道大学 附属図書館 4 階会議室)	平成 16 年 12 月 17 日(金)	92
東北・関東地区 (学術総合センター 一橋記念講堂)	平成 16 年 12 月 14 日(火)	393
中部地区 (名古屋大学 野依記念学術交流館カンファレンスホール)	平成 16 年 12 月 8 日(水)	114
近畿・中国・四国地区 (キャンパスプラザ京都 4 階 第 2 講義室)	平成 16 年 12 月 9 日(木)	285
九州地区 (九州大学 附属図書館視聴覚ホール)	平成 16 年 12 月 7 日(火)	120

(目録情報管理係)

NACSIS-CAT 参照ファイルに OCLC を導入

平成 17 年 2 月 1 日から ,NACSIS-CAT の参照ファイルとして OCLC WorldCat を利用可能としました。

参照ファイル名	OCLC , OCLCWC
SOURCE	OCL
書誌レコード ID のプレフィックス	OCLCWC

参照ファイル名に「OCLC」または「OCLCWC」と指定しますと、OCLC の WorldCat を検索します。なお、図書と雑誌の区別はありません。

OCLC WorldCat は、約 5,500 万件の書誌レコードが登録されているデータベースです。

OCLC WorldCat についての詳しい情報は、以下の URL を御参照ください。

URL : <http://www.oclc.org/worldcat/default.htm>

OCLC 参照ファイルは、RLG 参照ファイルと同様に、NACSIS-CAT の Z39.50 クライアント機能を利用して、オンラインで OCLC へ接続しています。RLG と同様に、「NACSIS-CAT への書誌レコード登録のための参照」に限定した利用契約を OCLC とも結んでおりますので、以下の点に注意して御利用くださるようお願いいたします。

- ・「ダウンロードのみ」、「検索のみ」といった、NACSIS-CAT への登録を伴わない目的での利用は行わないでください。
- ・総合目録データベース、RLG 以外の既存参照ファイルを検索した上で、なおもノーヒットの場合にのみ検索してください。
- ・システムに過度の負担がかかるため、ヒット件数が大量となる検索（普通名詞 1 語による検索等）は避けてください。

参照ファイルとして利用するには、お使いのクライアントが「OCLC」または「OCLCWC」を参照ファイルとして指定できるよう対応している必要があります。

また、NACSIS-ILL の参照ファイルとして OCLC WorldCat を検索する機能についても、以下のように準備を進めています。

参照ファイル名	OCLCIL
SOURCE	OCL
書誌レコード ID のプレフィックス	OCLCIL
公開予定時期	平成 17 年 4 月

なお、本誌 6 号で広報しました参照ファイル名「OCLCUL」は、使用しない予定です。

(目録情報管理係)

平成 17 年度遡及入力事業について

平成 16 年 12 月 22 日付け文書にて照会しました平成 17 年度遡及入力事業について、75 機関から 84 件の応募がありました。平成 16 年度第 3 回図書館情報委員会での審議の結果、以下の 38 機関 39 件を採択しました。

対象資料	機関名	入力予定冊数
多言語資料 (中国書資料) 8 機関 (8 件)	北海道大学 東京大学 愛知大学 大谷女子大学 佛教大学 国立民族学博物館 アジア経済研究所 東京都立中央図書館	15,000 冊 10,000 冊 5,000 冊 5,000 冊 2,000 冊 3,000 冊 8,000 冊 9,000 冊 (計 57,000 冊)
多言語資料 (韓国・朝鮮語資料) 4 機関 (5 件)	東京大学 (文学部, 東洋文化研究所) 京都大学 佛教大学 国立民族学博物館	13,000 冊 5,620 冊 500 冊 2,000 冊 (計 21,120 冊)
多言語資料 (アラビア文字資料) 8 機関 (9 件)	東京大学 (文学部, 東洋文化研究所) 東京外国語大学 京都大学 大阪外国語大学 佛教大学 国立民族学博物館 アジア経済研究所 東洋文庫	1,050 冊 11,080 冊 500 冊 5,000 冊 120 冊 3,000 冊 5,000 冊 10,000 冊 (計 31,250 冊)
人文社会系資料 14 機関 (13 件)	東京大学 一橋大学 東京学芸大学 金沢大学 名古屋大学 京都大学 (法学部, 東南アジア研究所, 人文科学研究所) 神戸大学 広島大学 滋賀大学・山口大学・大分大学・アジア経済研究所 立命館大学 名古屋学院大学	18,000 冊 4,400 冊 45,250 冊 6,000 冊 8,000 冊 3,800 冊 15,000 冊 7,000 冊 10,000 冊 2,000 冊 3,000 冊 (計 122,450 冊)
自動登録システム 実証実験 4 機関 (4 件)	筑波大学 信州大学 福山大学 国立民族学博物館	10,000 冊 5,000 冊 5,000 冊 2,800 冊 (計 22,800 冊)
合計		254,620 冊

平成 17 年度の採択にあたっては、以下の項目を考慮しました。

- ・ 総合目録データベースヒット率
- ・ コレクション種別・内容・言語
- ・ これまでの NACSIS-CAT 登録実績
- ・ NACSIS-ILL 利用の可否・これまでの NACSIS-ILL 受付実績
- ・ 入力実施にあたっての諸条件

《遡及入力事業について》

1. 概要

本事業は、目録所在情報サービス参加図書館と国立情報学研究所が共同で進める事業です。

図書館から提出いただいた遡及入力の原案を元に、国立情報学研究所は、遡及入力事業の計画・立案、入力業者への書誌・所蔵登録の仕様書の作成、入力業務の調達事務、進捗状況確認などを行います。なお、図書館システムへの登録に関連する所蔵登録詳細仕様の作成にあたっては図書館に御協力いただいています。その他、図書館は、利用者 ID の提供、本遡及入力に係るレコード調整などを担当します。また、本事業で作成した書誌レコードについては、各図書館が作成館としての責任を持ちます。

所蔵登録に当たって、図書館システム固有データの一定程度以上の入力や資料の整備作業は、本事業の範囲外となります。

2. 入力方法

(1) 館内で作業を行う場合

それぞれの図書館で、作業用の端末等、登録作業環境を用意していただく必要があります。通常お使いのクライアントから登録しますので、NACSIS-CAT へ遡及入力すると同時に図書館システムへ取り込むことができます。

(2) 資料を搬出して作業する場合

作業環境を準備する必要はありませんが、搬出・搬入時に資料の確認作業が必要となります。また、それぞれの図書館システムへ遡及入力したデータを取り込む際には、別途個別版データ等から取り込む必要があります。

3. 今後の予定

平成 17 年度は、平成 16 年度同様、多言語資料（中国語資料、韓国・朝鮮語資料、アラビア文字資料）、人文・社会科学系資料、自動登録システム実証実験を柱として行います。平成 16 年度の自動登録実証実験では、半自動登録機能の有効性の検証と成果の公開を目的として行いましたが、平成 17 年度は、今後の各図書館での遡及入力の契機となることを目標として、図書館のローカルデータベースにのみ大量に登録されているデータの効率的な登録方法の実験を行います。

平成 18 年度以降の遡及入力事業では、以下を予定しています。

(1) 多言語対応の展開

中国語、韓国・朝鮮語、アラビア文字資料に続く、次期対応言語としてタイ語の御希望をいただいています。平成 17 年度から国内の主要所蔵館の協力を得て、NACSIS-CAT へのタイ語資料の入力規則等の策定を行う予定です。

その他、現時点で個別の入力規則等がないものの NACSIS-CAT へ定数的に相当数の入力が行われている諸言語の今後の扱いについて、所蔵館・関係機関との間で検討会議を設け、調整を行う予定です。

(2) 展示会図録

今回、数機関から御希望いただきましたが、NACSIS-CAT への入力方法等が未確定ですので、平成 17 年度中に所蔵館や関係機関との間で検討会議を設け、平成 18 年度以降の入力に向けて調整を行う予定です。

(目録情報管理係)

総合目録個別版データの提供方法変更について

総合目録個別版データは、これまで記録媒体を送付する形態で提供していましたが、データ提供までの時間短縮と申し込み図書館の経費負担（送料・媒体費用）を軽減する目的で、FTP による提供を開始しました。

なお、これに伴い、磁気媒体等での提供を平成 17 年 3 月末で終了させていただきます。

FTP 化に伴う変更点は、次のとおりです。

1. データ取得

これまでは、媒体でデータをお送りしておりましたが、今後は本研究所内の FTP サーバに用意したデータを、申し込み機関からデータ取得ができるようになります。データ取得方法の詳細は、申し込みの際記入された連絡担当者へお知らせいたします。

お知らせしました手順に従い本研究所の FTP サーバへアクセスすることで、個別版データがダウンロードできます。

2. お申し込み・お問い合わせ窓口

申請書の受付及びお問い合わせの窓口を、次のように変更します。これまで窓口であった千葉分館は、平成 17 年 4 月以降対応ができなくなりますので、御注意ください。なお、申請書は別紙をご利用ください。

〒101-8430 東京都千代田区一ツ橋 2-1-2

国立情報学研究所 企画調整課 基盤整備係

E-Mail : sys-desk@nii.ac.jp

TEL : 03-4212-2220

また、旧 CAT の終了に伴い、NVT コードでの提供は平成 16 年 12 月末で終了しました。今後、NVT コードでのデータ提供はできませんのでご了承ください。

(基盤整備係)

雑誌「変遷注記用データシート」の改訂について

本誌15号の付録で掲載しました「変遷注記用データシート」を、このたび一部改訂しました。改めて本誌付録として添付しますので、今後は、こちらを御利用ください。

改訂内容：「参加組織名称」欄を参加組織ID（FA番号）と参加組織名称の記入欄に変更

（目録情報管理係）

「教科書に関する取扱い及び解説」、

「コーディングマニュアル（教科書に関する抜粋集）」の公開

本誌14号及び15号でお知らせしましたとおり、国立情報学研究所と教育系大学図書館協議会の関係者、実務担当者を中心に、教科書書誌レコードの入力基準の検討を進め、このたび、「教科書に関する取扱い及び解説」、「コーディングマニュアル（教科書に関する抜粋集）」としてまとめましたので、本号付録として公開します。

今後は、この運用方針に基づいて教科書資料の書誌・所蔵登録を行ってください。

なお、「教科書に関する取扱い及び解説」、「コーディングマニュアル（教科書に関する抜粋集）」は以下のURLでも公開します。

URL：http://www.nii.ac.jp/CAT-ILL/contents/ncat_manu.html

（目録情報管理係）

半自動モードを用いた自動登録システム実証実験プロジェクト

報告書について

平成 16 年度国立情報学研究所遡及入力事業の一環として実施しました「自動登録システム実証実験」の報告書が完成しましたので、以下の URL で公開します。

URL : http://www.nii.ac.jp/CAT-ILL/contents/ncat_info_catpauto2.html

本実験では、和書、洋書、中国書叢書などの遡及資料に対して、「自動登録システム（NEC 社製 CATP-Auto Ver.2）」を用い、半自動登録等の有効性の検証を行いました。

なお、参加機関は、東京大学、三重大学、大阪大学、九州大学の 4 機関です。

（目録情報管理係）

ISBN13 桁化への NACSIS-CAT の対応

ISBN (国際標準図書番号 : ISO 2108 , JIS X 0305) の改訂に伴い , ISBN の 13 桁化が以下のスケジュールで進められると広報されています。

平成 17 年 1 月	ISO 2108 (ISBN13 桁版) 正式公開
平成 17 年 1 月 ~ 平成 18 年 12 月	新規刊行資料移行期間 (10 桁と 13 桁の並存期間)
平成 19 年 1 月 1 日 ~	新規刊行の資料は , 13 桁のみ

この改訂を受けて , NACSIS-CAT では , 平成 17 年度中に ISBN フィールドの ISBN13 桁化への対応を行います。

NACSIS-CAT の ISBN 関係フィールド (ISBN、XISBN) のデータ長は 32 文字ですが , ISBN フィールドでのデータチェック機能 (チェックディジット計算等) が 10 桁の ISBN のみの対応となっているため , ISBN フィールドに 13 桁の ISBN を記録するとエラーになってしまいます。一方 , XISBN フィールドは , 登録時にデータチェックを行っていませんので , 現在も 13 桁の ISBN の記録が可能です。

平成 17 年 1 月から平成 18 年 12 月までは , 13 桁化への移行期間と位置づけられていますので , 海外の資料に 13 桁の ISBN が出現する可能性があります。また , 米国議会図書館では , 平成 16 年 10 月から対応していますので , 参照ファイルのレコードにも 13 桁の ISBN が出現する可能性があります。

改造が完了するまでに出現した 13 桁の ISBN は , XISBN フィールドに転記することで対応をお願いします。

ISBN の 13 桁化については , 以下の URL を御参照ください。

URL : <http://www.nlc-bnc.ca/iso/tc46sc9/wg4.htm>

URL : <http://www.niso.org/standards/resources/ISBN.html>

(目録情報管理係)

NACSIS-CAT/ILL システムの移行について

NACSIS-CAT/ILL システムの機種更新に伴う移行作業を、以下の日程でシステムを休止して行いました。

作業期間：平成 17 年 3 月 19 日（土）～平成 17 年 3 月 21 日（月・祝）

前回（平成 11 年 12 月）は、移行作業に約 2 週間程度要したため、年末年始に実施しましたが、現システムとの並行運用やデータ移行方式の見直しにより、移行作業期間の大幅な短縮が実現しました。

移行後のシステムでは、ピーク時の同時接続端末台数 7,000 台（現在のシステムでは 4,500 台）に対応できるような機器構成となっています。また、将来接続端末台数が増加した場合に備えて、ハードウェアの増設が可能となるよう、柔軟な機器構成で設計しています。

（目録情報管理係）

平成 15 年度 NACSIS-CAT/ILL 業務分析表の送付について

目録所在情報サービスは、サービス開始以来、関係各方面の御協力を得て、平成 17 年 2 月末現在で参加機関 1,036 機関、図書書誌レコード約 750 万件、図書所蔵レコード約 7,600 万件、雑誌書誌レコード約 27 万件、雑誌所蔵レコード件数は約 400 万件という、国内最大規模の総合目録データベースを形成し、年間約 100 万件の ILL 業務が運用されています。

その一方で、各レコードの品質及び各参加館の相互協力の運用においては、必ずしも良好とはいえない状況が見受けられ、目録所在情報サービスの品質管理が、大きな課題となっております。

この状況をふまえて、「書誌ユーティリティ課題検討プロジェクト」の一環として、参加大学を対象に、平成 15 年度の NACSIS-CAT/ILL のデータをもとに統計作業を行いました。その結果を「NACSIS-CAT/ILL 業務分析表」にまとめ、平成 17 年 2 月 14 日付けで国・公・私立の各大学図書館（機関単位）宛に送付しました。

今回の作業を参考として、今後も目録所在情報サービスの利用実態の把握に努め、各参加館への広報及び周知を図る予定です。

今後の業務の参考にしていただきますとともに、目録所在情報サービスの充実に向けて、今後とも御協力をお願いします。

（目録情報管理係）

平成 16 年度第 3 回レコード調整の発送

平成 16 年度第 3 回レコード調整連絡を，平成 17 年 3 月下旬に，関係各館に送付しました。対象データは平成 16 年 10 月から平成 17 年 2 月までの処理分です。

連絡リストが到着の際は，内容を確認の上，すみやかに処理くださるようお願いいたします。

(目録情報管理係)

平成 16 年度第 1 回継続資料の取扱いに関する小委員会開催報告

本誌 15 号の会議開催報告のとおり，平成 16 年 11 月 4 日に第 1 回継続資料の取扱いに関する小委員会を開催しました。

この小委員会は，近く予定されています日本目録規則の改訂にあわせて，NACSIS-CAT での継続資料の取扱いについて検討するため，大学図書館等の実務担当者を委員に招き，設置したものです。現在公開されております日本目録規則の改訂案では，継続資料として，従来の逐次刊行物の他に，加除式資料等の扱いを規定し，また，逐次刊行物のタイトル変遷の基準について大幅な内容の変更が行われております。

第 1 回の小委員会では，NACSIS-CAT においても日本目録規則改訂に準じた形で，継続資料の取扱いを変更する方向で，具体的な検討を進めていくことを確認しました。

検討状況については，今後も本誌にて報告します。

(目録情報管理係)

書誌ユーティリティ課題検討プロジェクトの検討状況について

本誌 15号でお知らせしました「書誌ユーティリティ課題検討プロジェクト」の平成 16年 9月の第 1回検討会議以後の検討状況についてご報告します。このプロジェクトは、重複書誌レコードや ILL サービスステータスの問題をはじめ、現在課題となっている事項について、現実の業務内容に基づく業務分析と具体的な解決策を検討することを目的として、設置されたものです。

1. 構成員

- (国立大学) コーディネイタ: 東京大学附属図書館事務部長 笹川郁夫
メンバー: 旭川医科大学教務部図書館情報課長 栃谷泰文
鹿児島大学附属図書館情報管理課長 渡邊俊彦
東北大学附属図書館総務課情報企画係長 米澤誠
- (私立大学) コーディネイタ: 慶應義塾大学メディアセンター本部事務次長 平尾行蔵
メンバー: 明治大学図書館整理課長 佐伯正
同志社大学総合情報センター学術情報課資料管理係長 中島操
- (国立情報学研究所) 顧問: 学術研究情報研究系研究主幹(教授) 宮澤彰
メンバー: 開発・事業部次長 小西和信
開発・事業部企画調整課研修係長 成澤めぐみ
開発・事業部コンテンツ課長 大場高志
開発・事業部コンテンツ課課長補佐 茂出木理子
開発・事業部コンテンツ課目録情報管理係長 鶴澤和往
開発・事業部コンテンツ課学術情報サービス係長 荻原寛
開発・事業部コンテンツ課目録情報管理係 岡田智佳子
開発・事業部コンテンツ課目録情報管理係 川瀬直人

2. 検討状況

- 平成 16年 10月～12月 国公立大学の NACSIS-CAT/ILL 業務状況の分析
平成 17年 1月～2月 訪問調査(全国 15大学)
CAT/ILL の業務実態について担当者から聞き取り調査を実施
平成 17年 2月 14日 「NACSIS-CAT/ILL 業務分析表」の送付
平成 17年 3月 7日 第 2回書誌ユーティリティ課題検討プロジェクト検討会議開催

3. 今後の予定

当初、平成 16年度末に本プロジェクトにて提言をまとめ公開する予定でしたが、今後も引き続き検討を進め、平成 17年夏を目処に、国立情報学研究所及び参加館に向けた提言を策定する予定です。なお、平成 17年 3月末には、「書誌ユーティリティ課題検討プロジェクト 中間報告」を公開いたします。

(目録情報管理係)

平成 16 年度総合目録データベース実務研修実施報告

平成 16 年度総合目録データベース実務研修を 2 回実施し、計 21 名の方が課程を修了されました。この研修は、目録所在情報サービス参加機関において中核的な役割を担う人材の養成を目的としており、今年度は「目録所在情報サービスの品質管理(向上)」をテーマとして実施しました。

本研修では、2 週間にわたり、目録所在情報サービスに関連する講義及び演習、他機関の見学、目録システム講習会講師補助体験、グループごとの共同演習・発表等を行いました。

研修のカリキュラムや研修員成果物等は以下の URL で公開しています。

URL : <http://www.nii.ac.jp/hrd/HTML/Db/>

研修を修了された方々の一覧と実施日は、次のとおりです。

【第 1 回】平成 16 年 10 月 18 日(月)～10 月 29 日(金)

氏名	所属機関
市原 瑞基	宮崎大学
長谷川 裕子	京都大学
三見 智子	広島大学
小島 勢子	国際大学
永井 登志江	新潟大学
平岡 宏美	神戸大学
澤本 亜希	大阪外国語大学
久保山 健	大阪大学
白木 裕子	東京大学
江川 和子	東京大学
澤田 さとみ	名古屋大学
古謝 久美子	琉球大学



【第 2 回】平成 16 年 11 月 29 日(月)～12 月 10 日(金)

氏名	所属機関
竹田 深佳	岐阜大学
宮地 健士	九州大学
中村 律子	北陸先端科学技術大学院大学
小林 靖明	札幌医科大学
川西 幹雄	大阪市立大学
小豆澤 悦子	島根大学
床井 啓太郎	東京大学
加藤 大博	北海道大学
大野 淳子	立命館大学



(研修係)

日韓 ILL/DD 暫定サービス利用状況

平成 16 年 11 月から開始した日韓 ILL/DD (ドキュメント・デリバリー) 暫定サービス (複写依頼業務) の利用状況をお知らせします。

	日本		韓国	
参加組織数	77		226	
処理件数	依頼件数	成立件数	依頼件数	成立件数
11 月	7	5	32	29
12 月	1	1	52	39
1 月	5	5	56	45
2 月	5	5	57	45 (+5)
合計	18	16	197	158 (+5)

(平成 17 年 2 月末現在)
カッコ内の数字は、レコードの状態が「発送」などの成立見込件数

引き続き、日韓両国の学術情報の流通にご活用くださるようお願いします。

本暫定サービスへのご参加を随時受け付けています。お申込みの際は、所定の申込書にご記入の上、電子メール等で学術情報サービス係へお送りください。

電子メールアドレス：illadm@nii.ac.jp

なお、申込書は以下の URL からダウンロードいただけます。

URL : http://www.nii.ac.jp/CAT-ILL/contents/nill_info_globalil.html

(学術情報サービス係)

ILL 文献複写等料金相殺サービス処理報告

(平成16年度第3四半期)

ILL 文献複写等料金相殺サービスの第3四半期の処理結果を以下のとおり、報告します。

新規の参加申込みも月極めで随時受け付けていますので、以下の URL で概要を御参照の上、参加の御検討をよろしく申し上げます。

URL : http://www.nii.ac.jp/CAT-ILL/contents/nill_info_sousai.html

平成16年度第3四半期(平成16年10月~12月)

- ・利用機関数：541
- ・処理対象 ILL レコード件数：265,564 (NACSIS-ILL 総レコード件数：328,905)

		対債務機関	対債権機関
機関数		339	197
NII の請求額/支払額		25,970,442	25,854,629
内訳	相殺金額	25,923,827	25,923,827
	運営費(税込)	47,250	36,750
	前期債権繰越額	635	930
	振込手数料	---	32,400
	次期繰越分	---	978

債務、債権ともに発生しなかった機関は5機関

(学術情報サービス係)

ILL 文献複写等料金相殺サービスの運用について

ILL 文献複写等料金相殺サービスの今後の予定を以下のとおりお知らせします。

- | | |
|--------------------|-------------------------|
| (1) 第4四半期分相殺処理実施 | 平成17年4月1日 |
| (2) 第4四半期分相殺通知書発送 | 平成17年4月1日 |
| (3) 残高確認書発行(希望館のみ) | 平成17年4月1日(平成17年3月31日時点) |

残高確認書の発行依頼については、以下の内容を電子メールでお知らせください。連絡責任者または経理責任者宛にお送りします。

- (1) 宛先: illadm@nii.ac.jp
- (2) 件名: 残高確認書発行依頼(ILL 料金相殺)
- (3) 内容: 1. ILL 機関番号:
2. 参加機関名:
3. 希望送付先(連絡責任者または経理責任者):

また、平成17年度の運営費は、減額する予定で検討しています。
決定次第、すみやかにお知らせします。

(学術情報サービス係)

学術機関リポジトリ構築ソフトウェア実装実験プロジェクトの終了

標記プロジェクトを、平成17年3月をもって終了しました。プロジェクト参加機関の御協力に感謝いたします。

実施期間：平成16年6月～平成17年3月

参加機関：北海道大学，千葉大学，東京大学，東京学芸大学，名古屋大学，九州大学

活動内容：国内外における学術機関リポジトリ構築先行事例の研究，及び，オープンソース・ソフトウェア（DSpace，GNU EPrints）による学術機関リポジトリの試験構築・試行運用による技術情報の蓄積

本プロジェクトの活動の記録および報告書の電子ファイルを以下のURLで公開します。

URL：<http://www.nii.ac.jp/metadata/irp/>

インターネット利用の普及に伴い、オープンアクセス思潮の興隆をはじめとして、印刷体学術雑誌の出版流通を軸としてきた学術情報流通は大きな流動と変革の時期を迎えています。とくに、電子的情報流通環境下にあっては、散逸しがちな電子的学術情報資源を、その発生源において責任を持ってアーカイブし、必要十分なメタデータとともに世界に、そしてまた後世に伝えていくことがますます重要になってきています。

学術機関リポジトリはこれからの学術コミュニケーションの一角を担う可能性を持っています。本プロジェクトが、国内各大学・研究機関における学術機関リポジトリ設立の検討の一助となれば幸いです。

なお、平成17年度以降も、引き続き学術機関リポジトリ構築のための技術支援を継続していくことを計画しています。



学術機関リポジトリの概要
(NII Library Week 2004 スライド)

(学術情報形成第二係)

会議開催報告（平成16年12月～平成17年3月）

平成16年度第2回 国立情報学研究所図書館情報委員会

[日時] 平成16年12月1日（水）10:00-12:00

[場所] 国立情報学研究所 12階会議室（1204）

[議事]

[審議事項]

1. 平成17年度遡及入力事業計画（案）について

[報告事項]

1. 平成16年度遡及入力事業中間報告
2. 学術機関リポジトリ構築ソフトウェア実装実験プロジェクト中間報告
3. 継続資料の取扱いに関する小委員会中間報告
4. 書誌ユーティリティ課題検討プロジェクト中間報告
5. 日韓ILL/DD暫定サービス運用開始報告
6. ILL文献複写等料金相殺サービス処理報告
7. その他
 - ・大学等図書館関連事業説明会の開催について

Meeting on Digital Collection and Electronic Resources Portal

[日時] 平成16年12月13日（月）14:00-17:00

[場所] 国立情報学研究所 22階大会議室

[主催] 国公立大学図書館協力委員会，
国立大学図書館協会国際学術コミュニケーション委員会

[内容]

1. プレゼンテーション：Digital Collections and Electronic Resource Portals
Director of Collections and Access Programs Association of
Research Libraries：Mary E. Jackson
2. プレゼンテーション：Digital Collection Portal Site：Current Perspectives and Issues
国立大学図書館協会 東京工業大学附属図書館：熊淵智行
3. プレゼンテーション：Portal to Digital Resources in Japanese Universities
国立情報学研究所：杉田茂樹
4. オープン・ディスカッション

第2回 次世代自動登録システム実証実験に関する検討会議

[日時] 平成17年1月24日(月) 14:00-17:00

[場所] 国立情報学研究所 20階講義室1

[議事]

1. 実証実験実施報告
2. 平成16年度次世代自動登録システム実証実験レポート作成について
3. その他

学術機関リポジトリ構築ソフトウェア実装実験プロジェクト報告会

[日時] 平成17年2月10日(木) 13:30-17:00

[場所] 国立情報学研究所 20階講義室1

[内容]

第1部：各ステークホルダーの現況

- SPARC/JAPAN活動と機関リポジトリ
- 千葉大学「刊行誌掲載論文の著作権についてのアンケート」結果概要
- 北海道大学「学術情報の発信に関するアンケート調査」結果概要
- 国大図協学術情報委員会デジタルコンテンツ・プロジェクト「デジタルコンテンツに関するアンケート」結果概要

第2部：プロジェクト報告書案に関する意見交換

第3部：各大学現況報告

平成17年度NACSIS-CAT/ILL講習会実施検討会議

[日時] 平成17年2月17日(木) 13:30-15:30

[場所] 学術総合センタービル 2階中会議場3・4

[報告事項]

1. 平成16年度NACSIS-CAT/ILL(地域)講習会実施報告
2. 平成16年度NACSIS-CAT/ILL(地域)講習会開催等報告
3. その他

[審議事項]

1. 平成17年度NACSIS-CAT/ILL(地域)講習会実施計画
2. その他

平成16年度NACSIS-CAT/ILL講習会講師担当者報告会

[日時] 平成17年2月17日(木) 16:00-19:00

[場所] 学術総合センタービル 2階中会議場3・4

[報告事項]

1. 平成16年度NACSIS-CAT/ILL(地域)講習会実施報告
2. 平成17年度NACSIS-CAT/ILL(地域)講習会実施について
3. その他

平成16年度第3回 国立情報学研究所図書館情報委員会

[日時] 平成17年3月7日(月) 13:30-15:00

[場所] 国立情報学研究所 12階会議室(1204)

[審議事項]

1. 書誌ユーティリティ課題検討プロジェクト訪問調査状況
2. 平成17年度遡及入力事業計画(案)について

[報告事項]

1. 平成16年度遡及入力事業報告
2. 学術機関リポジトリ構築ソフトウェア実装実験プロジェクト報告
3. その他

第2回 書誌ユーティリティ課題検討プロジェクト

[日時] 平成17年3月7日(月) 15:30-18:00

[場所] 国立情報学研究所 12階会議室(1204)

[議事]

1. NACSIS-CAT/ILL参加館訪問調査の結果について
2. 課題解決へ向けた提言について
3. その他

(目録情報管理係)

総合目録個別版利用申請書

平成 年 月 日

大学共同利用機関法人 情報・システム研究機構
 国立情報学研究所長 殿

利用代表者

印

国立情報学研究所総合目録個別版提供サービス利用規程を遵守し、総合目録個別版の利用を申請します。

利用者	名称		参加組織コード	FA							
	所在地			FA							
					FA						
連絡担当者	職名		氏名								
	TEL		E-Mail								
データ取得 IPアドレス											
利用目的											
申請区分	<input type="checkbox"/> 図書（総合目録個別版図書編） [オンライン利用館のみ] <input type="checkbox"/> 雑誌（学術雑誌総合目録）										
データ抽出 期間	年 月 日～ 年 月 日			出力ルート	<input type="checkbox"/> 書誌ルート <input type="checkbox"/> 所蔵ルート						
フォーマット および 文字セット等	<input type="checkbox"/> CATP フォーマット (JIS7) <input type="checkbox"/> CATP フォーマット (ISO2020JP) <input type="checkbox"/> CATP フォーマット (GB, GBK) <input type="checkbox"/> CATP フォーマット (UTF-8(=UCS))			<input type="checkbox"/> インデックスを含む <input type="checkbox"/> インデックスを含まない							
	<input type="checkbox"/> B フォーマット (EUC)										
備考											
研究所 記入欄	受付日	平成 年 月 日		受付番号							
	作成日	平成 年 月 日		担当者							
	発送日	平成 年 月 日		備考							

変遷注記用データシート

参加組織ID: FA	参加組織名称:
------------	---------

記入者		シート		連番			
-----	--	-----	--	----	--	--	--

変遷図			関連ファミリーID																	
<div style="text-align: right; margin-bottom: 10px;">裏面に記載あり <input type="checkbox"/></div>			<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin-bottom: 5px;"> <tr> <td style="width: 5%;"></td><td style="width: 5%;"></td><td style="width: 5%;"></td><td style="width: 5%;"></td><td style="width: 5%;"></td><td style="width: 5%;"></td><td style="width: 5%;"></td><td style="width: 5%;"></td><td style="width: 5%;"></td><td style="width: 5%;"></td><td style="width: 5%;"></td><td style="width: 5%;"></td><td style="width: 5%;"></td><td style="width: 5%;"></td><td style="width: 5%;"></td><td style="width: 5%;"></td><td style="width: 5%;"></td> </tr> </table> <div style="padding: 5px;"> <p style="margin: 0;">注記欄</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 既存の変遷ファミリーに書誌の追加がある 2. 既存の変遷ファミリーに修正がある 3. 新たな変遷ファミリーが生成した 4. その他 [] </div>																	
番号	誌名番号(書誌ID)	誌名(タイトル)	巻次・年月次																	

教科書に関する取扱い及び解説

(平成 17 年 3 月 25 日版)

本取扱いでは、書誌レコード作成上、従来の図書資料と大きく異なる点を取りまとめた。各事項についての基本的考え方を示すにとどめ、詳細な規則や記述例については、別途作成している「コーディングマニュアル」で規定する。

また本取扱いは、基本的には日本目録規則 1987 改訂 2 版（以下、NCR87R2）に準拠し、その条項と異なる規則について説明する形式をとっている。

1. 適用範囲

原則として、日本の現行教科書制度（昭和 24 年以降）の教科書及び教師用指導書（以下「指導書」という。）を対象とする。

2. 教科書の特性

教科書は、一般の図書と異なり、以下のような特性を持つ。

1) 文部省（または文部科学省）検定があり教科書の記号・番号を持つ。

（例）国 I 559

2) 出版年のほかに検定年が重要になる。

奥付等に「平成 8 年 2 月 29 日文部省検定済教科書 小学校国語科用」等と検定に関する情報が表示される。

3) 使用される学校の種別がある。

（例）小学校、中学校、高等学校など。

4) 教科・科目によって分かれている。

タイトルが、教科・科目名のみの場合が多い。

（例）国語、数学

5) その教科書に対応する指導書が存在する。

対応する検定済み教科書と教科書の記号・番号及び出版者が同一である。小・中・高等学校の教師を対象として出版・販売されている。

6) 見本版が存在する。

教科書には、出版を目的としない見本版が存在する。

文部省（文部科学省）の教科書検定を受けた小・中・高等学校の見本版で、検定用見本（白表紙本）と採択用見本がある。

教科書の記号・番号を持ち、内容は通常使用される教科書とほぼ同じである。出版年月日に空欄があり、検定年月日にも空欄がある場合がある。

見本版であることを示す情報源は無いが、シール・押印等で見本版と表示されている（「教科書センター用見本」等）ことがある。

3 . 書誌レコード作成単位

学校種別、教科・科目、出版者、検定年が同一で、同一の本タイトルのもと刊行された一連の教科書群を書誌レコード作成単位とする。

なお、教師用指導書及び見本版教科書は、それぞれ別書誌レコードとする。

4 . 出版物理単位の記録方法

書誌レコードは、学校種別、教科・科目別にまとめ、学年を巻号として取り扱う。

以上

コーディングマニュアル（教科書に関する抜粋集）

（平成 17 年 3 月 25 日版）

1. 書誌レコード作成単位

1.1 新規書誌レコード作成

学校種別、教科・科目、出版者、検定年が同一で、同一の本タイトルのもと刊行された一連の教科書群を書誌レコード作成単位とする。

1.2 新規書誌レコード作成の根拠としない例

- 1) 教科書の記号・番号、検定年が同一で、出版年のみの相違
 - 2) 教科書の記号・番号、検定年が同一で、2 版、3 版等数字の版表示がある場合
- ただし、改訂版等、内容の変更があきらかな版表示のものは新規書誌レコードを作成する。

1.3 資料に巻号がなく、各巻に名称のみ表示されている場合

各巻の情報源上の名称が部編名に相当する時は VOL フィールドに記述する。固有のタイトルに相当する場合は親書誌・子書誌の階層関係とし、各巻ごとに子書誌レコードを作成する。

（例）部編名に相当する場合

VOL：女子向 1
VOL：女子向 2
VOL：女子向 3
TR：中学技術・家庭 / 石三太郎ほか著 チュウガク ギジユツ・カテイ

（例）固有のタイトルに相当する場合

TR：働く家庭 / 大日本雄弁会講談社編 ハタラク カテイ
PTBL：中学職業・家庭科 チュウガク ショクギョウ・カテイカ

1.4 親書誌レコード

検定年ごとに書誌レコードを作成し、検定年を出版年に記録する。

（例）「昭和 30 年 8 月 25 日 文部省検定済 高等学校家庭科用」とある教科書の親書誌

YEAR：1955
TR：高校家庭 / 日本女子大学家庭科研究会編 コウコウ カテイ
PUB：東京：実教出版 ， 1955
PHYS：冊； 21cm

1.5 指導書

教師用指導書については別書誌レコードを作成する。

1.6 見本版

見本版については別書誌レコードを作成する。出版を目的としたものと区別するために、版表示に補記で「[見本版]」と記録する。

検定に関する情報について、NOTE フィールドに注記する。

(例) 検定に関する情報がある場合

TR：中学社会 チュウガク シャカイ ED：[見本版] PUB：東京：三省堂出版，[1956] NOTE:昭和31年月 日 文部省検定済教科書 中学校社会科用 (月日の数値空欄) NOTE：出版月日の数値空欄

(例) 検定に関する情報がない場合

TR：家庭生活 カテイ セイカツ ED：[見本版] PUB：東京：三省堂出版，[1956] NOTE：検定注記なし NOTE：出版年月日の数値空欄 NOTE：昭和31年7月23日 文部省検定済教科書の見本版

2. 通則

2.1 その他の番号 OTHN

C.M. 2.1.19C(新規追加)

(フィールド内容とデータ要素)

- 1) OTHN フィールドには、教科書の記号・番号を記録する。その他の番号コード「TXN」と共に、教科書の記号と番号をハイフンでつなげる。

(例) 教科書の記号・番号が「現文 56」の場合

OTHN：TXN：現文-56

- 2) 教科書資料の指導書は、準拠する教科書についての情報が重要であるため、準拠する教科書の記号・番号を OTHN フィールドに記述する。
- 3) 教科書資料の見本版は、対応する出版用教科書の教科書の記号・番号を OTHN フィールドに記述することができる。

2.2 タイトル及び責任表示 TR

C.M. 2.2.1 F1(新規追加)

(本タイトル及びタイトル関連情報)

- 1) 学年によりタイトルの字種(ひらがな・漢字等)が変化する場合、最も小さい学年のタイトルをTRフィールドに記述する。他の学年のタイトルはVTフィールドに「その他のタイトル」として記述し、表示されている学年についてNOTEフィールドに注記する。

(例)

VOL : 1
VOL : 2
VOL : 3
VOL : 4
VOL : 5
VOL : 6
TR : あたらしいずがこうさく あたらしい ずが こうさく
VT : OH : 新しい図画工作 あたらしい ずが こうさく
NOTE : 2 ~ 6のタイトル : 新しい図画工作

- 2) 情報源上の表示に「I」「2」等の数字がある場合に、それらがタイトルの一部か、巻次等の一部かは、検定番号の科目の記号を参考に判断する。

(例) 情報源上の表示が「国語I」で、教科書の記号・番号が「国I 559」の場合

TR : 国語 I / 野地潤家 [ほか] 編 コクゴ I

(例) 情報源上の表示が「国語一」で、検定番号が「国I 526」の場合

TR : 国語一 / 大岡信 [ほか] 編 コクゴ イチ

この「一」は巻次等ではなく、「科目名の一部」である。

(例) 情報源上の表示が「機械工作 1」で、教科書の記号・番号が「工業 005」の場合

VOL : 1
VOL : 2
TR : 機械工作 / 嵯峨常生 [ほか] 著 キカイ コウサク

C.M. 2.2.1 F3(新規追加)

(責任表示)

文部省(文部科学省)著作教科書の奥付に「著作権所有 文部省」「著作権所有 文部科学省」とのみ表示されている場合、TRフィールドには責任表示を記録せず、NOTE フィ

ールドに注記し、AL フィールドに「文部省（文部科学省）」と記録する。

2.3 版 ED

C.M. 2.2.2 F(新規追加)

教科書資料の見本版は、「[見本版]」と補記する。

(例)

TR：中学社会 / 笹山晴生 [ほか] 著 チュウガク シャカイ ED：[見本版]
--

2.4 出版事項 PUB

C.M. 2.2.3 F2(新規追加)

(出版年等)

1) 出版年が検定年より2年以上離れている場合は、その出版年を採用せず、推定年を YEAR フィールドに記録し、PUB フィールドに補記する。

NOTE フィールドに「記述は～年発行による」等注記する。

教科書は通常検定年の同年もしくは翌年に発行され、異刷であっても、奥付にはその旨を記載されていないことが多いためである。

(例) 教科書に「平成4年1月31日 文部省検定済」「平成6年1月20日発行」と表示されている場合

YEAR：1992 PUB：東京：大阪書籍，[1992] NOTE：平成4年1月31日 文部省検定済教科書 中学校社会科用 NOTE：記述は平成6年発行による
--

2) 教科書資料の親書誌レコードは、検定年を出版年に記録する。

2.5 注記 NOTE

C.M. 2.2.3 F3(新規追加)

(検定に関する事項)

1) 検定に関する情報は必ず NOTE フィールドに注記する。

(例)

NOTE：平成11年1月31日 文部省検定済教科書 小学校国語科用

2) 検定の月日の数値が無い場合は、情報源に表示されているまま NOTE フィールドに注記する。

(例)

NOTE: 昭和 26 年 7 月 23 日 文部省検定済教科書 昭和 28 年 月 日 改訂
小学校国語科用 (改訂の月日の数値空欄)

3) 奥付等に「～年度用」と表示されている場合、刷違いとみなし、「記述は～年度用による」の情報を NOTE フィールドに注記する。

同一書誌レコードに対して複数の「～年度用」が対応する場合、それぞれについて記録する。

(例) 複数の「～年度用」がある場合

NOTE: 平成 年 月 日 発行には「 年度用」の表示あり
NOTE: 平成 年 月 日 発行には「 年度用」の表示あり

4) 出版年が検定年より 2 年以上離れている場合、出版年について、NOTE フィールドに「記述は～年発行による」と注記する。

(例) 教科書に「平成 4 年 1 月 31 日 文部省検定済」「平成 6 年 1 月 20 日 発行」と表示されている場合

PUB: 東京 : 大阪書籍 , [1992]
NOTE: 平成 4 年 1 月 31 日 文部省検定済教科書 中学校社会科用
NOTE: 記述は平成 6 年発行による

5) 指導書は、準拠する教科書の検定年や出版年を NOTE フィールドに記録する。検定年または出版年を指導書本体からではなく、準拠した教科書により採用した場合は、その旨を NOTE フィールドに記録する。

(例)

NOTE: 準拠する教科書の検定年月日: 昭和31年4月30日 (文部省検定済教科書
小学校社会科用)
NOTE: 検定年月日の記述は準拠する教科書による

2.5 件名等 SH

C.M. 2.4.2D (新規追加)

(教科書資料の場合)

1) 「日本の教科書」に関する件名

NDSLH: 教科書 -- 日本

2) 学校種別に関する件名 (該当する場合、選択して記述)

NDLSH：小学校、NDLSH：中学校、NDLSH：高等学校 または

BSH：小学校、BSH：中学校、BSH：高等学校

3) 教科名に関する件名(該当する場合、選択して記述)

NDLSH：社会科、数学科、算数科、理科、技術・家庭科、家庭科、職業科、
図画工作科、音楽科、国語科

BSH：社会科、生活科、数学科、理科、保健体育科、技術・家庭科、
図画工作科、国語科

(例)

SH：NDLSH：教科書 -- 日本 キョウカシヨ -- ニホン//K
SH：NDLSH：小学校 ショウガッコウ//K
SH：NDLSH：国語科 コクゴカ//K

なお、基本件名標目表(BSH)、国立国会図書館件名標目表(NDLSH)に含まれない学校種別、教科等に対応するために、その他の件名標目表として「文部(科学)省教科書目録」の学校種別・教科・科目名を件名として採用することもできる。

その場合は、件名標目表の種類コードには「FREE(その他の件名標目表)」を記録する。

(例)「高校世界史」の場合(BSHにあるのは「社会科」のみ)

TR：高校世界史 / 佐藤次高 [ほか] 著 コウコウ セカイシ
SH：FREE：地理歴史 チリレキシ//K
SH：FREE：世界史 B セカイシ B//K

以上